



通常国会がはじまり、安倍晋三首相は施政方針演説を行いました。

◆沖縄県の米軍普天間飛行場を辺野古に移設と称して新基地を建設しようとしていることについて、昨年の演説では「沖縄に寄り添う」との表現を入れていたが今年はなくなり、普天間基地の返還を強調するばかり。一方、この日、辺野古の新たな護岸造成を始めました。

ところが沖縄県が繰り返し、その地盤のもろさを指摘していたにもかかわらず。計画を強行してきた場所が、そのままでは建設できないことをついに認めました。それでも、なお基地建設のためには新たな地盤改良工事を行うことで安全を確保できると防衛省は説明し、あくまで推進しようとしています。設計変更の手続きが必要です。沖縄県の玉城知事は「県が行った埋め立て承認の撤回の事由に挙げていた、軟弱地盤の存在を安倍総理大臣が認めたわけだから、政府は、即刻、工事を中止して県と話し合うべきだ」と述べました。県は承認をしない方針であり、強行するにしても設計変更が必要であり、ますます新基地建設の見通しが立たなくなっています。

◆厚生労働省による労働力調査データのごまかし、政府やマスコミは「不適正な調査」などと表現していますが、あきらかな不正であり、国家の根源を揺るがす大変な犯罪です。

◆昨年は年内に改憲論議をしようと思気込んでいましたが、今回は「憲法審査会の場で各党の議論が深められることを期待する」としたにとどまっています。これは会期中に統一地方選や皇位継承に伴う十連休があり、今国会で改憲論議を進展させることは日程的に難しいと判断しているからトーンダウンしたとの見方があります。でもいうこととやることが違うのが安倍流。

しかしそれだけではありません。春の統一地方選挙や夏の参議院選挙に向けて、支持率のアップを策したいけれど、看板のアベノミクスがどうやらウソ情報に支えられていたことが国民に知られるようになってしまったことや消費税10%問題があります。増税を実現するための仕掛けがあまりにも露骨で、増税反対をなだめる費用が膨らんでしまって何のための増税かといわれる、まさに本末転倒の状況を乗り切らなければならないという状況など厳しいのは事実。逆に我々から見れば国民がそれぞれの場で安倍内閣のウソと隠ぺい、国民無視のでたらめ行政を追及する「安倍政治NO!」の声を挙げていくべき時ではないでしょうか。

自衛隊の真の姿を語る井筒高雄さん

5月に講演をお願いしている井筒さんは陸上自衛隊に入隊し、レンジャー隊員となったが、1992年PKO法が成立したため、海外派兵の任務遂行は容認できないと3等陸曹で依願退職した。その体験から語る自衛隊の真実は衝撃だ。

自身の体験として、基本的人権は二の次の過酷を極める訓練によって精鋭部隊として育成された。

自衛隊員が海外派遣中に死亡した際の扱いについて、隊員が全員加入している防衛省職員団体生命保険において、「戦死」あるいは「紛争死」の場合には免責、すなわち保険金が支払われない扱いとなっている。

もともと自衛隊は、専守防衛に限定した任務を遂行する組織であった。しかし、イラク戦争の際には、陸上自衛隊はイラクのサマワにおいてPKO活動として任務を遂行したが、その際には迫撃砲が宿营地内に着弾するなど、自衛隊を狙った攻撃が複数回起きた。そのような状況において、防衛庁（現防衛省）は、イラクに20人分の棺を持参していたし、殉職者の国葬を執り行う場合に備え、武道館の空き状況を押さえていたけれど、現場の士気にかかわるとしてトップシークレット扱いで進められていたという。

これまで「直接侵略及び間接侵略に対し我が国を防衛することを主たる任務」と規定していたものが、強行採決された安保法制によって「我が国を防衛することを主たる任務」と改定され、専守防衛ではなくなった。自衛隊法施行規則に定められている「自衛隊員のサービスの宣誓」の「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め、もって国民の負託にこたえる」という文言について「世界中のどこにでも出かけて行って戦闘行動をするという内容に変わったのだから、サービス宣誓の取り直しが必要だ。海外に行って戦闘行為をするという契約はしていない」と主張する。

5月18日(土)

13:00開場 13:30開演

「憲法9条の改憲は
自衛隊のためのか」

～元自衛官が現場目線で考える～



お話: 井筒高雄さん

(元自衛隊員 PKO派兵を機に退職)

流山市生涯学習センター

資料代500円 学生・生徒無料

「平成」からその先も... <投稿>

昨年末、天皇陛下はまもなく終わろうとする「平成」について、「戦争のない時代」とのおことばを述べておられた。厳粛に耳を澄ます私たち国民にとってもそれはとても感慨深いものであった。

同時に「平和憲法成立」の原点（出発点）に思いを致し、深く再認識させられる機会にもなったと思う。

「コスタリカの奇跡」というドキュメンタリー映画を紹介したプリントを友人からもらい、その内容を読み（映画は観ていないもの）感動した。ご存知の方も多いと思うが、憲法で日本とほぼ同時期に軍隊を廃止したという中南米コスタリカ共和国、とそして日本。 気になるのはそれ以後の二国の歩み方である。

日本についてはまさに「ご承知の通り」だが、一方（1948年）軍隊廃止後も紛争の絶えない中南米において武力に頼ることなく平和を維持してきたコスタリカだがその道のりも決して平坦なものではなかったようだ。

（以下プリントから簡略に抜粋）

中南米は米国と旧ソ連の冷戦の舞台に。度重なる戦争協力の圧力や侵略等の緊急事態に対し、政府は慌てて自衛軍の必要性を（国民に）訴えるが、しかしその度に平和を望む国内の世論が押し返したのだという。

（これはスゴイ）大統領はハーグ国際司法裁判所に訴え、武力をいっさい交えることなく外交努力と法の手で紛争を解決。更に注目は軍事予算を福祉や教育費に充て、2016年には地球幸福度指数で世界一に。

「日本国憲法9条はコスタリカの非武装憲法より世界に広く知られ」そして来年はオリンピック・パラリンピックの開催国ということもあってか、今、日本は様々な分野において世界で最も注目されている国と言われている。

この“好機”をチャンスと捉え、唯一の被曝国で、更には大きな原発事故の経験国でもある日本こそ主導権をとって、反戦！そして原発ゼロ！と国際社会に向かって発信出来ないものか・・・などと、つい思いたくなってしまう。

それにしても、今後元号が変わろうとも、憲法のもとで「戦争のない時代」が引き継がれていってほしいと誰しも願うが、それには私たち国民の意識と努力による影響が如何に大きく左右するか、コスタリカの「例」は遠く離れた他国の「話」としてではなく、身近な自分達の問題として、今回身に沁みて実感することが出来たように思う。

有り難いことに最近ではあちらこちら我が家の近くにも誰でもが親しく集える「お茶会」などのいわゆる「コミュニケーションの場」が沢山あるようだ。雑談の合間でもいい、「平和憲法」について気軽に前向きに意見交換していけたらうれしい。

さて、後期高齢者となり、（個人差はあるが）体力、気力の減退を日々実感はするものの、「平成」以後もずっと「戦争のない平和な状態を」と願う気持ちは決して萎えるものではない。



2019年1月 西初石在住 大住美枝

世話人

自己紹介

昨年から九条の会の世話人会に参加している榎聡（かしあきら）です。愛知県の知多半島に生まれ、流山に引っ越してからもう30年になります。仕事は東京に通うサラリーマンで、後2年で65歳の定年退職の予定です。

流山に来た1990年頃から、オオタカの住む市野谷の森を守る活動に参加しました。オオタカの繁殖調査などの地味な活動や署名運動などが功を奏して、市野谷の森の半分25haが県立公園として保全されることになりました。その後、市野谷の森の保全活動を継続するために、2002年に仲間と一緒に「NPOさとやま」という市民団体を立ち上げました。「NPOさとやま」では、オオタカの繁殖活動の保護を始めとして、自然観察会を開いたり野鳥やチョウなどの生物のモニタリング調査などの活動をしています。昨年12月からは、流山市から市野谷の森の管理を受託しましたので、将来の県立公園開設まで「NPOさとやま」が森の保全に中心的な役割を果たしていきたいと思っています。

また、2004年には流山のまちづくりに関わる市民団体の活動を支援するために、中間支援組織となる「まちネット流山」という市民団体を立ち上げました。「まちネット流山」では、市民参加のまちづくりを実現するために、市民活動推進センターの設置や市民活動公益事業補助金制度などの提案を行いました。2012年からは、流山のまちづくりに参加する若者を養成する講座「まちづくり人養成塾」を開催しており、今年で5期目を迎えました。この間に約60名の塾生を送りだし、中には自分たちの市民団体を立ち上げた若者も何人かいます。

以上の2つは流山という地域の枠の中での環境やまちづくりの市民活動ですが、平和憲法に危機が迫っている状況で、安保法制を撤廃し改憲を阻止するために少しでもお役に立てればという思いで、「九条の会流山」の活動に参加しました。安倍政権になってから、朝日新聞の慰安婦報道バッシングや嫌韓・嫌中本の氾濫など、日本の世論はどんどん極右の方向に流されてきています。今ここで歯止めをかけないと、安倍首相の目論み通り戦前の軍国主義日本が復活するのではないかと危惧しています。日本の隅々から平和を愛する市民を結集する「九条の会」の活動から、日本に民主主義を取り戻す大きな流れが生まれてくれることを願っています。

榎 聡（かしあきら）

おおたかの森駅宣伝と署名
2月9日(土)15:30~16:30 (3月も同じ)

カンパはこちらの郵便振替口座へ
00130-5-464735 口座名 九条の会流山